

阿波市全庁評価シート 令和5年度実施事業対象

PLAN	No.	13	1	基本事務事業名	人権啓発地方委託事業	事務事業名	人権啓発活動事務	公的関与	5	シート作成日	令和6年6月5日		
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	杉山 洋		シート作成者名	桜川 治子		
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立		<input type="radio"/> 1 該当		令和 年 ~ 令和 年		<input type="checkbox"/> 期間設定なし			
	主要施策		(2)人権教育・啓発の推進		<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民										
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会の実現。									
	事業の活動内容	具体的などのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
① 人権講演会を市内4中学校で開催します。(対象:各校生徒・教員・市職員・市民)													
② 「人権の花運動」として、小学校へ花苗を贈呈し、栽培を通じて命の大切さや相手への思いやりの気持ちを育ませ、豊かな人権感覚を身につけるもらう運動を実施します。													
③ 中学校によるプラカード隊、小学生による鼓笛隊を先頭に、人権擁護委員・市職員・教員が啓発物品を配布する人権パレードを実施します。													
④ 植物による栽培・収穫を通じて、いのちの循環を体験してもらい「いのちのリレープロジェクト」を、人権擁護委員と共に認定こども園で実施します。													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標				
	人権講演会	市内4中学校にて開催		開催数・参加人数		目標	4回・1500人	4回・1500人	4回・1500人	4回・1500人			
		実績											
	人権の花運動	開催数・参加人数				目標	回・150鉢 60名参加	回・150鉢 60名参加	回・150鉢 85名参加	回・150鉢 85名参加			
		実績											
	人権パレード・人権集会	年1回開催				目標	1回	1回	1回	1回			
実績													
予算費目	会計	一般会計			款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 人権対策費			
DO	直接事業費	令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備考					
		国庫支出金	千円		千円		千円						
		県支出金	845 千円		848 千円		940 千円						
		地方債	千円		千円		千円						
		その他特定財源	千円		千円		千円						
		一般財源	94 千円		90 千円		90 千円						
	計(A)		939 千円		938 千円		1,030 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.400 人	2,417 千円	0.400 人	2,424 千円	0.400 人	2,381 千円					
		会計年度任用職員職種											
		会計年度任用職員工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円					
全体事業費(A+B)		3,356 千円		3,362 千円		3,411 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	人権とは「人が人らしく生きていくために社会により認められている権利」であり、何からも犯されることなく尊重されなければなりません。人権意識を醸成させるこの事業の実施は、社会にとって必要不可欠であり、継続して取り組んでいきます。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい				
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない				
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	各事業後のアンケートでは、9割超の参加者が「人権に関する意識が深まった」と回答しており、事業の有効性があらわれています。今後も効果的な実施方法を模索していきます。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる				
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない				
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる				
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	各事業に対して、多くの方に参加していただき、達成できたと思います。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている								
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない								
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している								
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している								
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	各事業の実施手段・内容については、それが適切か効果的か否かを常に見直していかなければならないと考えます。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当				
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない				
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない				
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等					
	当面の課題	講演会や人権パレード等一般参加者を対象とした事業については、啓発効果を大きくするため、よく多くの方に参加していただけるように広報活動等努めていかなければならない。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
	改革案と実行計画	市のホームページ・ケーブルテレビの活用等よりよい周知・広報方法を考えていきます。加えて、現行の事業内容に限らず、違う形で啓発活動を行うことができるかを模索していきます。					人権啓発は、地道な活動ではありますが、人として根幹をなすものです。限られた予算で講師の選択にも悩まされることと思いますが、関係部局とも協議し、活動を継続します。							
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 令和5年度実施事業対象

PLAN	No.	13	基本事務事業名	人権擁護委員活動事業		事務事業名	人権擁護委員活動事務		公的関与	4	シート作成日	令和6年6月5日		
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	杉山 洋		シート作成者名	桜川 治子			
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立		<input type="radio"/> 1 該当		令和 年 ~ 令和 年		<input type="checkbox"/> 期間設定なし				
	主要施策		(2)人権教育・啓発の推進		<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等							
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	すべての人々が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会に実現。										
	事業の活動内容	今年度	阿波市内に特設人権相談所を開設し、市民等の人権を遺漏なく守ります。植物の栽培・収穫のサイクルを通じて命の循環を体感してもらい「いのちのリレープロジェクト」を認定こども園・小学校で進めるとともに、市内量販店等での街頭啓発を行うなど、幅広い年代を対象とする人権啓発を推進していきます。											
具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
① 特設人権相談について、毎月、市内4会場で4回実施します(市役所本庁2回、社会福祉協議会施設2回)。														
② 植物の栽培・収穫のサイクルを通じて命の循環を体感してもらい「いのちのリレープロジェクト」を、認定こども園・小学校で実施します。														
③ 街頭啓発や講演会等啓発で実施。啓発物品を配布しながら、人権啓発を行います。														
④ 文字放送・広報紙記事等を活用して啓発活動を推進し、市民の人権意識の高揚を図ります。														
⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標						
	特設人権相談	毎月市内3箇所	回	目標	50回	50回	50回	50回						
				実績	38回	38回								
					目標									
					実績									
					目標									
				実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	3 民生費		項	1 社会福祉費		目	4 人権対策費		
	直接事業費	令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備考						
		国庫支出金	千円		千円		千円							
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	300 千円		300 千円		300 千円							
	計(A)	300 千円		300 千円		300 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.400 人	2,417 千円		0.400 人	2,424 千円		0.400 人	2,381 千円				
		会計年度任用職員職種												
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円		人	0 千円		人	0 千円					
全体事業費(A+B)		2,717 千円		2,724 千円		2,681 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	人権擁護委員の設置は法律で義務付けられております。また、人権擁護委員は、市民の基本的人権が侵犯されたときは救済支援等を行うなど、人権思想の普及・高揚に努めています。人権擁護委員の活動について、支援する必要があります。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	人権擁護委員活動を支援することにより、市民の基本的人権が守られ、人権意識の高揚が促進されて、安心できる住みよいまちづくりが実現します。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	定期的の特設人権相談を開設していること、ボランティアで学校・幼稚園関係・社会福祉施設等へ訪問し、積極的に人権意識の普及高揚活動を行っていること等を鑑みて、目標は達成できていると考えます。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している		<input type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		<input checked="" type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	人権擁護委員10名とも、阿波市全体を対象に効率的に活動しています。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	平成21年1月に徳島地方法務局内の徳島地区協議会に加盟し、広く他地域の活動を見聞したこと、また活動拠点となる事務所を提供したこともあり、自主的かつ積極的に、阿波市全体の人権意識の普及・高揚のため活動を行っています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	試行錯誤しながら、自主的に様々な活動を実施しています。人権啓発活動のネットワーク体制の強化を図るため、人権擁護委員活動に対し必要に応じた連隊強化・支援がなされるべきと考えます。					限られた予算の中で、色々と工夫を凝らした人権啓発活動が行われていることに感謝します。今後とも連携を密にし、活動の総括もしながら継続した取り組みを行って参ります。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 令和5年度実施事業対象

PLAN	No.	13	基本事務事業名	男女共同参画推進事業	事務事業名	男女共同参画事務	公的関与	1	シート作成日	令和6年6月5日		
	部局名	市民部		課名	人権課	主務課長名	杉山 洋		シート作成者名	桜川 治子		
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業	<input type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他		<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策) 6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策) (1)人権尊重社会の確立				<input type="radio"/> 1 該当	令和 年 ~	令和 年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策 (2)人権教育・啓発の推進				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民、行政、企業、市民団体									
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	広報・啓発活動や学校教育、生涯学習など様々な場を通じ、男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直しや意識改革を推進し、男女共同参画社会の実現を図ることを目的とします。								
			今年度	男女共同参画社会実現へ向けて、さまざまな啓発活動を通じて意識改革を推進していきます。第4次男女共同参画基本計画の策定年度です。								
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 人権啓発・男女共同参画講演会の開催											
	② 広報紙での啓発活動											
	③											
	④											
	⑤											
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標			
	人権啓発・男女共同参画講演会		年1回開催		回・人	目標 1回・400人	1回・437人	1回・500人	1回・500人			
	広報の掲載		年6回掲載		回・人	目標 6回	6回	6回	6回			
						実績						
						目標						
						実績						
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 人権対策費	
	直接事業費			令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度予算		備考				
		国庫支出金		千円	千円	千円						
		県支出金		千円	千円	千円						
		地方債		千円	千円	千円						
		その他特定財源		千円	千円	千円						
		一般財源		300 千円	4,411 千円	350 千円						
		計(A)		300 千円	4,411 千円	350 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.400 人	2,417 千円	0.400 人	2,424 千円	0.400 人	2,381 千円			
		会計年度任用職員職種										
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円					
全体事業費(A+B)		2,717 千円		6,835 千円		2,731 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
							少ない	大きい					少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	市民の方に、男女共同参画講演会や広報を通じて、男女共同参画等を知っていただくことが必要だと考えられます。				<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	男女共同参画の形態の促進を図るために必要な事業だと考えられます。				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	令和5年度は、第3次阿波市男女共同参画基本計画を改定する年度であったが、市民へのアンケート調査を基に、主要課題を見つけ出し、第4次阿波市男女共同参画基本計画を策定することができました。				<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない					<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している					<input type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	より一層男女共同参画意識の形成を促すためには、男女共同参画担当職員を配慮するなど、人員の確保が必要と思われます。				<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	昨年度、策定した第4次阿波市男女共同参画基本計画に沿った施策の推進をしていくこと、また、市民や企業に対して広報やメディア等を利用し周知していくことが大切であります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
	改革案と実行計画	男女共同参画について、市民に知ってもらうことが必要です。引き続き事業を継続し、女性リーダーの育成、女性が社会にできる環境を推進していきます。					第4次計画中の施策の推進を行っていくのは基より、社会男女の地位の平等感やセクシャルマイノリティーに関する理解や認識深めることが今後の課題となっています。							
	委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和5年度実施事業対象

PLAN	No.	13	—	4	基本事務事業名	隣保館管理運営事業	事務事業名	隣保館管理運営事業	公的関与	6	シート作成日	令和6年6月				
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	杉山 洋		シート作成者名	山岡 真美子					
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input checked="" type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)				6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画						
		基本計画(施策)				(1)人権尊重社会の確立				● 1 該当						
		主要施策				(3)隣保館事業の充実				○ 2 非該当						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民(周辺地域住民)												
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる、開かれたコミュニティセンターとして、地域に密着し、人権課題解決のための各種事業を総合的に行うことを目的とします。												
			今年度	各種講座の充実を図り、広く隣保館を利用してもらうことを目的とします。												
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 各種相談事業(職業相談・人権相談・生活相談)															
	② 地域交流事業(各種講座)															
	③ 啓発・広報活動(館だより発行・パネル展)															
	④ 施設利用の充実															
	⑤															
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標						
	施設利用(4館)	年間延べ人数		人	目標		25,000	25,000	25,000							
					実績		18,347	18,415								
	地域交流事業(4館)	年間延べ人数		人	目標		13,000	13,000	13,000							
					実績		11,050	10,572								
	広報活動(4館)	年間実施回数		回	目標		12	12	12							
					実績		12	12								
	DO	予算費目	会 計	一般会計				款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	隣保館管理費
直接事業費				令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度予算	備考									
		国庫支出金		千円	千円	千円										
		県支出金	16,064	千円	16,511	千円	17,360	千円								
		地方債		千円	千円	千円										
		その他特定財源		千円	千円	千円										
		一般財源	13,143	千円	14,641	千円	13,831	千円								
		計(A)	29,207	千円	31,152	千円	31,191	千円								
人件費(B)		正職員工数・経費	1.000	人	6,042	千円	1.000	人	6,060	千円	1.000	人	5,953	千円		
		会計年度任用職員職種	隣保館館長		隣保館館長		隣保館館長									
	会計年度任用職員工数・経費	7.750	人	14,835	千円	7.750	人	15,146	千円	7.750	人	18,543	千円			
全体事業費(A+B)				50,084	千円			52,358	千円			55,687	千円			

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							○ 少ない	● 大きい				○ 少ない	● 大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					○ 少ない	● 大きい	隣保館は、地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行うものです。			○ 少ない	● 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					○ ない	● ある				○ ない	● ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					○ ある	● ない				○ ある	● ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					○ いる	● いない				○ いる	● いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					○ いえない	● いえる	地域住民にとって気軽に利用できるコミュニティ施設として利用者数は増えています。利用者には、高齢者(独居高齢者)の安否確認や声掛けなどを通じ、来館いただけていない方達との情報ネットワーク形成に活躍いただいています。			○ いえない	● いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					○ いえない	● いえる				○ いえない	● いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					○ する	● しない				○ する	● しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					○ できない	● できる				○ できない	● できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					○ 目標に比べて劣っている	地域交流事業は講座生も多く、ぱあわーあつぷとコラボして、研修会等を実施しています。又、隣保館活動を知っていただくために、館まつりを実施し、数多くの方にご参加いただいております。			○ 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					○ あまり上がっていない				○ あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					○ 概ね達成している				○ 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					● 十分達成している				● 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					○ 高い	● 適当	施設管理については、光熱水費や維持補修といった物件費等が増加傾向にあります。しかし、ニーズが多様化する中、効果的、効率的な運営に心がけ、現在のコストを維持しながら事業の展開を図ります。			○ 高い	● 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					○ できる	● できない				○ できる	● できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					○ ある	● ない				○ ある	● ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					○ ある	● ない				○ ある	● ない
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等		○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等			
	当面の課題	地域住民の実態・ニーズを十分把握し、住民各層との連携と交流の場として位置付ける必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	人権問題に関わる相談をはじめ、様々な相談業務に係る研修の一層の充実を行い、隣保館職員が地域住民の生活相談に対し適切に対応できるようにする。また、必要に応じて関係機関との連絡等を行います。					地域住民の要望に応えるとともに、地域の方々の連帯・交流の場として、今後も努力して参ります。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 令和5年度実施事業対象

PLAN	No.	13	基本事務事業名	公会堂・老人ルーム管理運営事業	事務事業名	公会堂・老人ルーム管理運営事業	公的関与	3	シート作成日	令和6年6月5日		
	部局名	市民部		課名	人権課	主務課長名	杉山 洋		シート作成者名	三橋 徹也		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託	
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input checked="" type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等	
	総合計画	基本構想(政策) 6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(3)コミュニティ活動の促進		<input type="radio"/> 1 該当		令和 年 ~ 令和 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	主要施策		(2)コミュニティ施設の整備		<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	公会堂・老人ルーム条例				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民									
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	各行事・集会のため、会場を提供することで生活を健全で豊かなものとし、社会福祉の増進を図ります。								
			今年度	施設の健全度調査を行うことで現状を把握し、危険個所については修繕等を適宜実施します。								
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 各施設を訪問・点検すると共に、管理人に修繕箇所等の報告依頼し、修繕箇所を設定します。											
	② 破損箇所の早期発見。											
	③ 施錠等の施設管理											
	④ ⑤											
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標				
				目標	300回・2,000人	300回・2,000人	300回・2,000人	300回・2,000人				
				実績	102回・811人	161回・1,287人						
				目標								
				実績								
				目標								
			実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	7 公会堂管理費		
	直接事業費	令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度予算		備考				
		国庫支出金	千円		千円		千円					
		県支出金	千円		千円		千円					
		地方債	千円		千円		千円					
		その他特定財源	千円		千円		千円					
		一般財源	3,083 千円		2,738 千円		3,233 千円					
	計(A)	3,083 千円		2,738 千円		3,233 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.300 人	1,813 千円	0.300 人	1,818 千円	0.300 人	1,786 千円				
		会計年度任用職員職種										
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円					
全体事業費(A+B)		4,896 千円		4,556 千円		5,019 千円						

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価		
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	地域の会合や人が交流できる場所を提供することで生活を健全で豊かなものとし社会福祉の増進を図ります。		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	老朽化が深刻な施設があるため、他の類似施設との統廃合も視野にいれる必要があります。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない	
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる	
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	老朽化が進んでいることから、地域への譲渡、統廃合等を投げ掛けているがそれに至っていません。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている			
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない			
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している			<input type="radio"/> 概ね達成している			
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している			<input checked="" type="radio"/> 十分達成している			
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	今後の公共施設の管理運営については、財政面や市民の行政参加の視点から自主管理運営の検討も必要です。		<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	
ACTION	一次評価					二次評価						
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A	
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		
	当面の課題	多くの施設が建築後40年を経過し、老朽化が進んでいることから危険箇所を早期発見し対応をする必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 今後においても、地域と協力して利用者の利便性向上に努めるとともに、市公共施設管理計画に基づいた管理、修繕を進めます。					
改革案と実行計画	阿波市公共施設個別管理計画に基づき、類似施設との統廃合も含め検討していく必要があります。											
委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 令和5年度実施事業対象

PLAN	No.	13	基本事務事業名	住宅新築資金等償還事業	事務事業名	住宅新築資金等償還事務	公的関与	6	シート作成日	令和6年6月5日		
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	杉山 洋		シート作成者名	三橋 徹也	
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託	
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等	
	総合計画	基本構想(政策)		5. 明日への基盤が整った阿波			実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)		(4)住宅施策の推進			<input type="radio"/> 1 該当		令和 年 ~	令和 年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし	
	主要施策		(2)良質・安全な住宅建築及び改修の促進			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		住宅新築資金等貸付借入者								
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	貸付金全ての償還								
			今年度	償還率向上のための徴収強化								
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 滞納徴収(催告書発送・電話催告・訪問徴収)											
	② 消し込み(徴収原簿・償還台帳)											
	③ 補助金申請(補助金申請事務)											
	④ 実績報告書作成											
	⑤ 貸付事業償還状況調書作成											
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標		
	貸付事業償還額		住宅新築資金等償還額(過年度)		円	目標	1,000,000	1,000,000	1,000,000			
						実績	359,006	255,161				
						目標						
						実績						
						目標						
					実績							
DO	予算費目	会 計	住宅新築資金等貸付事業特別会計			款		項		目		
			令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度予算	備考						
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円	
		県支出金	75		千円	75		千円	1,275		千円	
		地方債			千円			千円			千円	
		その他特定財源	359		千円	255		千円	312		千円	
		一般財源	319		千円	325		千円	147		千円	
		計(A)	753		千円	655		千円	1,734		千円	
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.700 人	4,230 千円		0.700 人	4,242 千円		0.700 人	4,167 千円		
		会計年度任用職員職種										
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円		人	0 千円		人	0 千円			
全体事業費(A+B)		4,983 千円		4,897 千円		5,901 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	貸付事業の償還事務であり、償還の約定期間中のため廃止できません。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	償還中の貸付事業のため事業は継続になります。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input checked="" type="radio"/> 目標に比べて劣っている	目標設定に達していないため、徴収強化が必要です。また、法的措置等の検討も必要です。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している				<input type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	システム導入により管理コスト削減が見込めますが、導入コストとの費用対効果は見込めません。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 1	効率性 4	総合評価 B	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	死亡・病気・高齢・破産・行方不明等による長期滞納案件の対策が課題です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 滞納者の状況把握と法的措置の検討を進めながら回収に努めます。						
	改革案と実行計画	滞納者の状況把握に努め、貸付金の徴収事務の見直しをするとともに、回収方法について法的措置も含めた検討が必要になります。											
	委員会指摘事項												